

CKD

2007年3月期 中間決算説明会

CKD株式会社
代表取締役社長

石田正範

2006年11月15日

目 次

- 1、2007年3月期 中間決算の概要
- 2、通期の業績予測
- 3、今後の見通し
- 4、質疑応答

2007年3月期 中間決算の概要

中間決算概要

セグメント状況



当中間期の経営成績(連結)

増収増益(前年同期比)

売上、経常利益、当期純利益は過去最高を更新。

(単位：百万円)

	2006年3月期 前中間期	2007年3月期 当中間期	前年同期比増減		2007年3月期 当中間期 (修正発表)	修正発表比較	
売上高	38,584	51,365	+ 12,781	+33.1%	50,800	+ 565	+1.1%
営業利益 (同率)	3,820 (9.9%)	6,773 (13.2%)	+ 2,953 (+3.3%)	+77.3%	発表して おりません		
経常利益 (同率)	3,819 (9.9%)	6,745 (13.1%)	+ 2,927 (+3.2%)	+76.6%	6,800 (13.4%)	55 (0.3%)	0.8%
当期純利益 (同率)	2,290 (5.9%)	3,974 (7.7%)	+ 1,684 (+1.8%)	+73.5%	4,000 (7.9%)	26 (0.1%)	0.6%

当中間期の計画は、本年7月28日に修正発表をしております。

今回の修正計画に対する未達要因は、海外子会社の人件費増、営業所の増加によるもので

将来のための先行投資によるものであります。

当中間期の財政状態(連結)

- ・総資産 …… 売上高増加による売掛債権、たな卸資産、投資有価証券の増加。
- ・純資産 …… 資本金および利益剰余金の増加。

(単位：百万円)

	2006年3月期 前中間期	2007年3月期 当中間期	前年同期比 増減
総資産(単位：百万円)	66,802	80,111	+ 13,309
純資産(単位：百万円)	32,308	41,427	+ 9,119
自己資本比率(%)	48.4	51.7	+ 4.3
1株当たり純資産(円)	515.27	626.44	+ 111.17

当中間期のキャッシュ・フローの状況(連結)

- ・営業活動CF …… 利益、仕入れ債務増加、退職給付引当金減少、売掛債権増加、たな卸資産増加、法人税等支払い。
- ・投資活動CF …… 有形固定資産、有価証券取得による支出。
- ・財務活動CF …… 借入金返済、配当金の支払い。

(単位：百万円)

	2006年度3月期 前中間期	2007年度3月期 当中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	406	4,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,072	2,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,849	910
現金及び現金同等物の増減額	4,545	406
現金及び現金同等物の期末残高	4,199	4,055

当中間期の機種別売上実績(連結)

自動機械装置

CCFLの売上が好調により、売上増に貢献

流体制御機器

半導体製造装置向け機器の受注が昨年下期に続き好調

(単位 : 百万円)

	2006年3月期 前中間期	2007年3月期 当中間期	前年同期比増減	
自動機械装置	6,870	14,667	+7,730	+113%
空気圧機器	18,595	20,200	+1,605	+9%
流体制御機器	13,120	16,500	+3,380	+26%
合計	38,584	51,365	+12,716	+33%

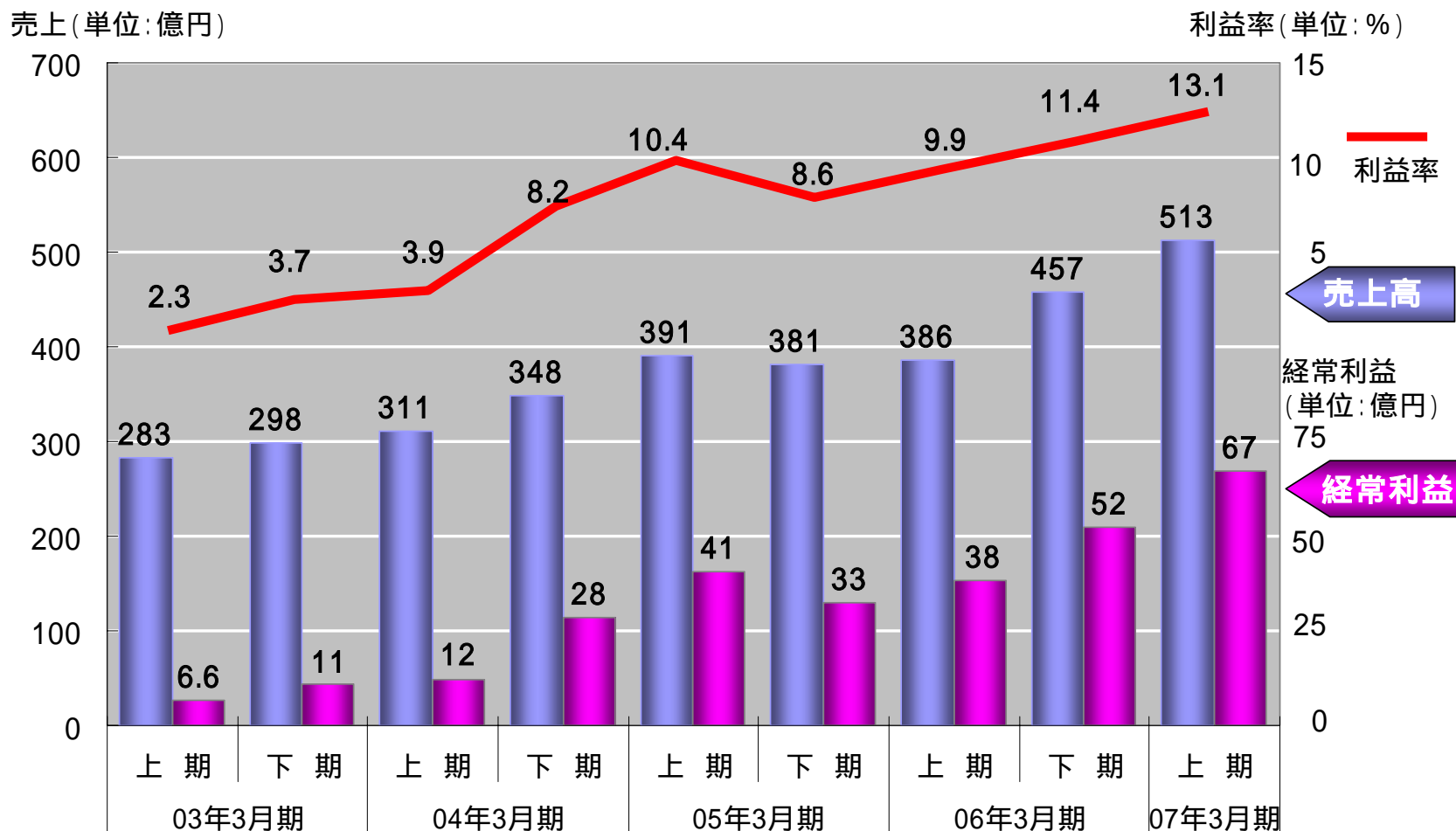
当中間期の損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	2006年度3月期 前中間期	2007年3月期 当中間期	前期比増減	
売上高	38,584	51,365	+ 12,780	+33.1%
売上原価	27,495	36,585	+ 9,090	+33.1%
(売上原価率)	(71.3%)	(71.2%)	-0.1%	
売上総利益	11,089	14,779	+ 3,690	+33.3%
販管費	7,268	8,006	+ 738	+10.2%
営業利益	3,820	6,773	+ 2,952	+77.3%
(営業利益率)	(9.9%)	(13.2%)	(+3.3%)	
経常利益	3,820	6,745	+ 2,926	+76.6%
(経常利益率)	(9.9%)	(13.1%)	(+3.2%)	

全体の売上高・経常利益(連結)

売上・経常利益ともに順調に推移し、中間期における過去最高の売上・経常利益を達成。

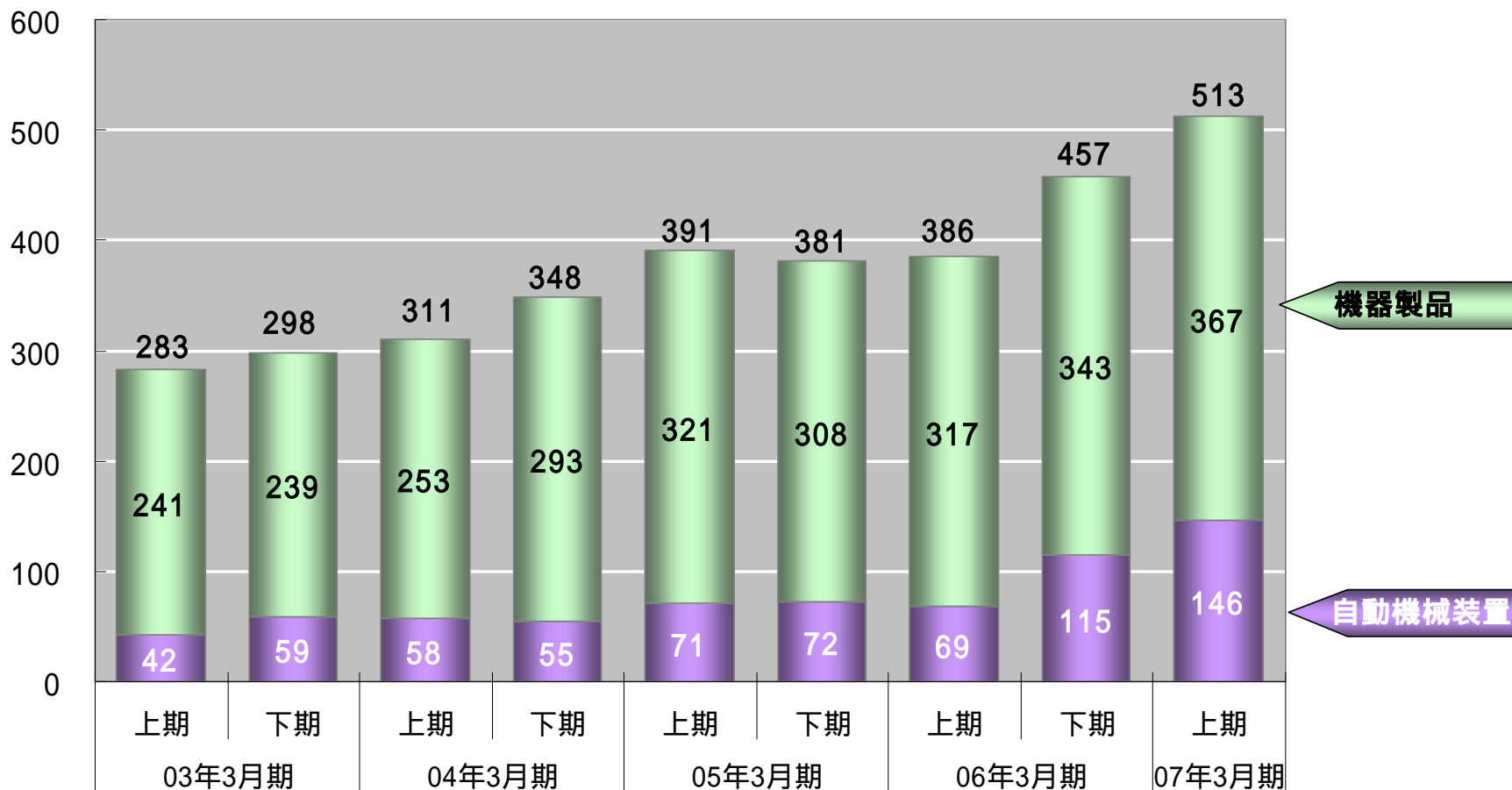


事業の種類別セグメント情報

自動機・機器 売上

自動機械はCCFL、機器製品は好調な設備投資を背景に、順調に売上増加。

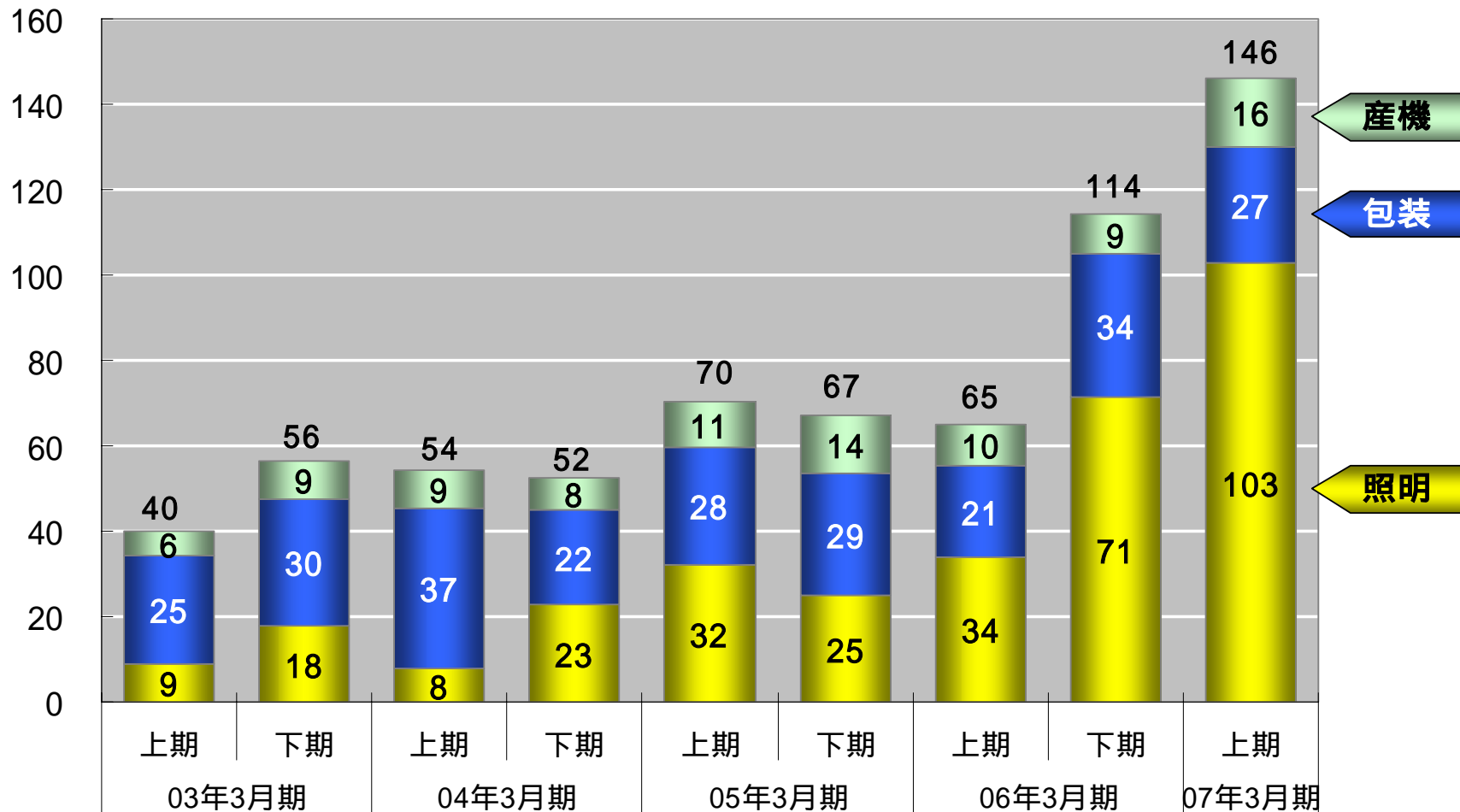
売上(単位:億円)



自動機械部門 機種別セグメント情報

産機・包装機械は横ばいであるが、CCFLの売上大幅増加が貢献。

売上(単位:億円)

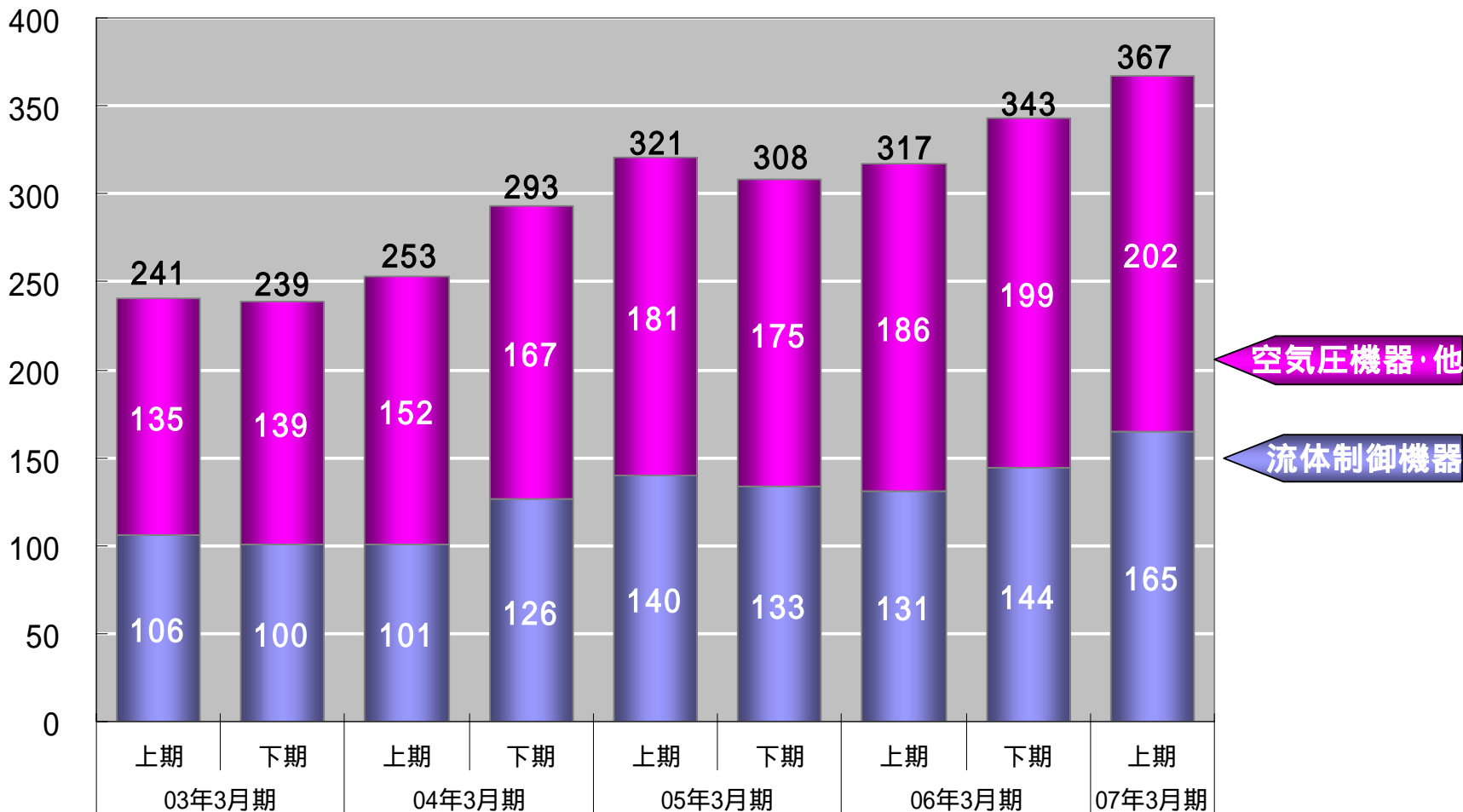


機器部門 機種別セグメント情報

半導体装置向け機器製品が受注好調。

自動車・FPD関連の調整期により空気圧機器は、伸び悩み。

売上(単位:億円)



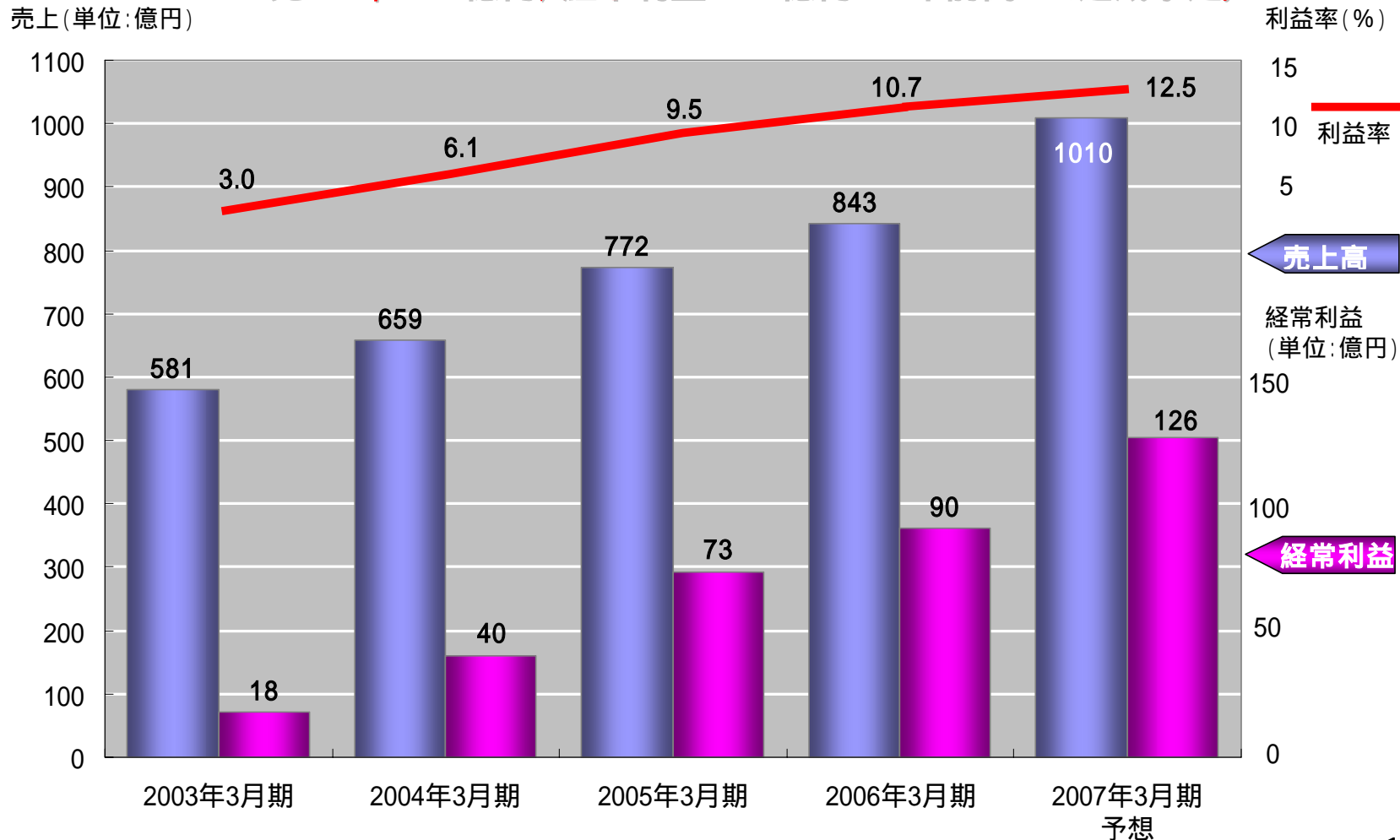
通期の業績予想

通期の業績予想
配当

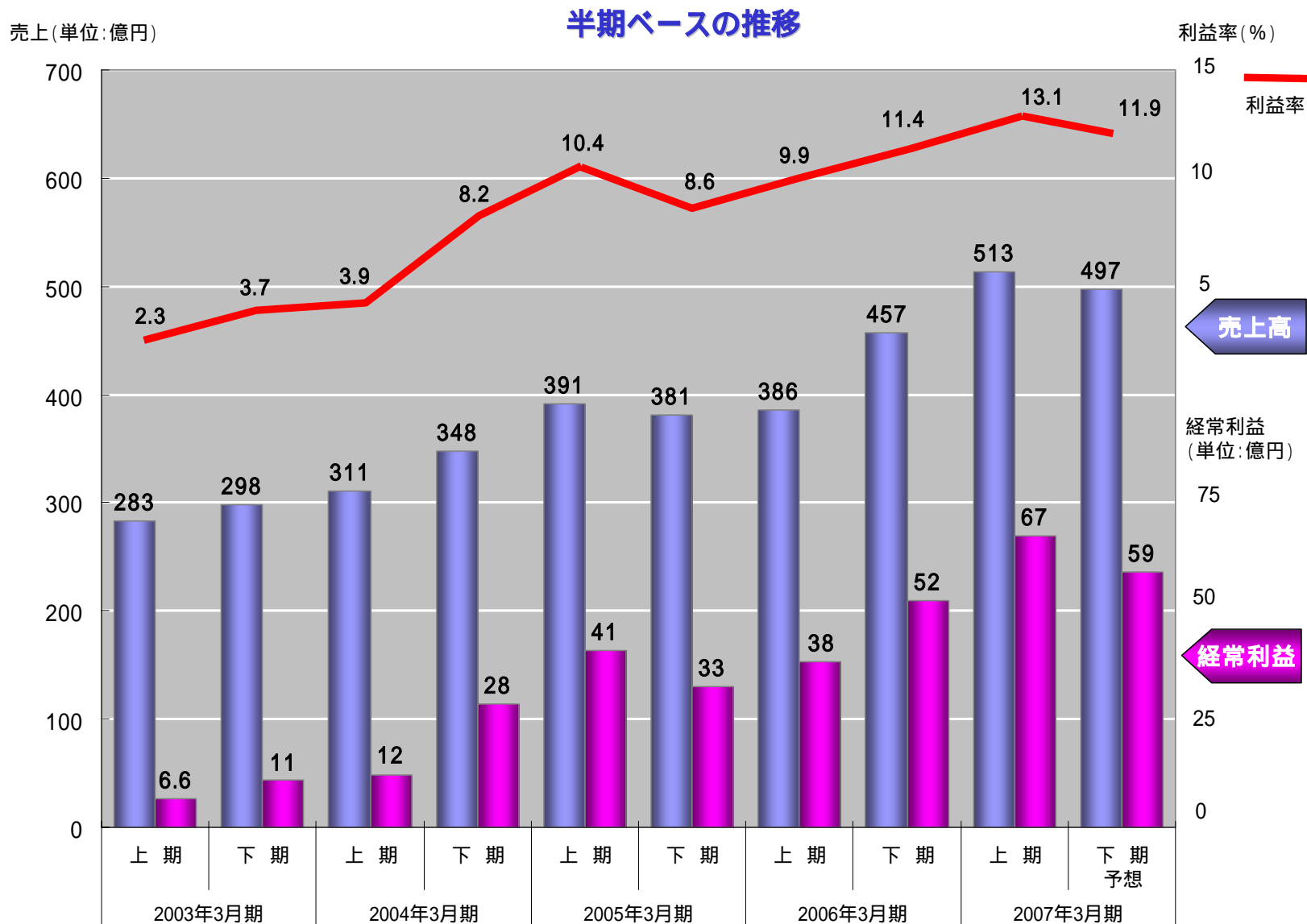


全体の売上高・経常利益(連結)

売上は4期連続の増収、6期ぶりの過去最高を更新予定、
 経常利益は5期連続の増益、3期連続で過去最高を更新予定。
売上1,000億円、経常利益100億円を1年前倒して達成予定。



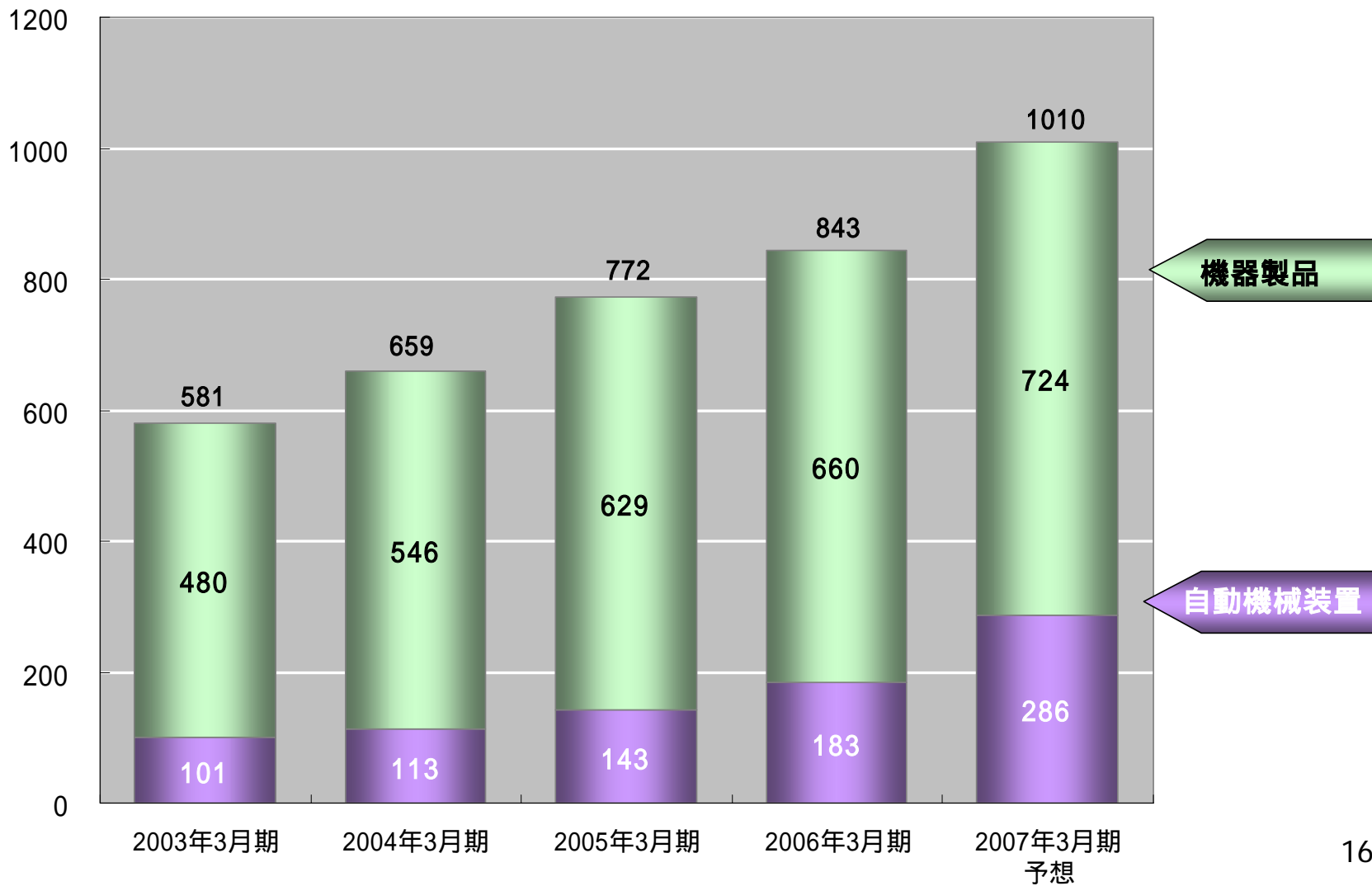
全体の売上高・経常利益(連結)



事業別の通期業績(売上高)

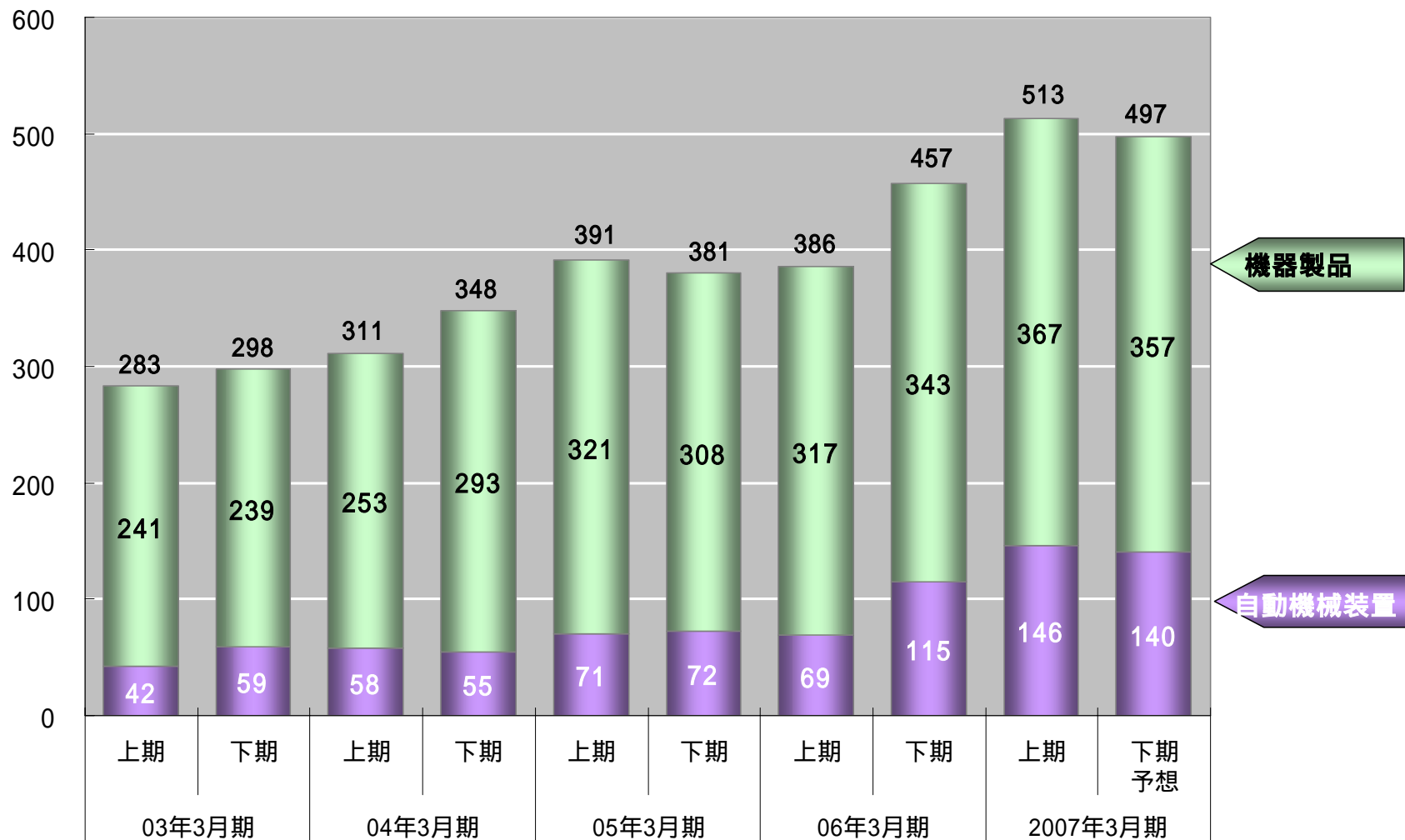
自動機はCCFL、機器製品は半導体製造装置向け製品が売上を牽引。

売上(単位:億円)



事業別の半期業績(売上高)

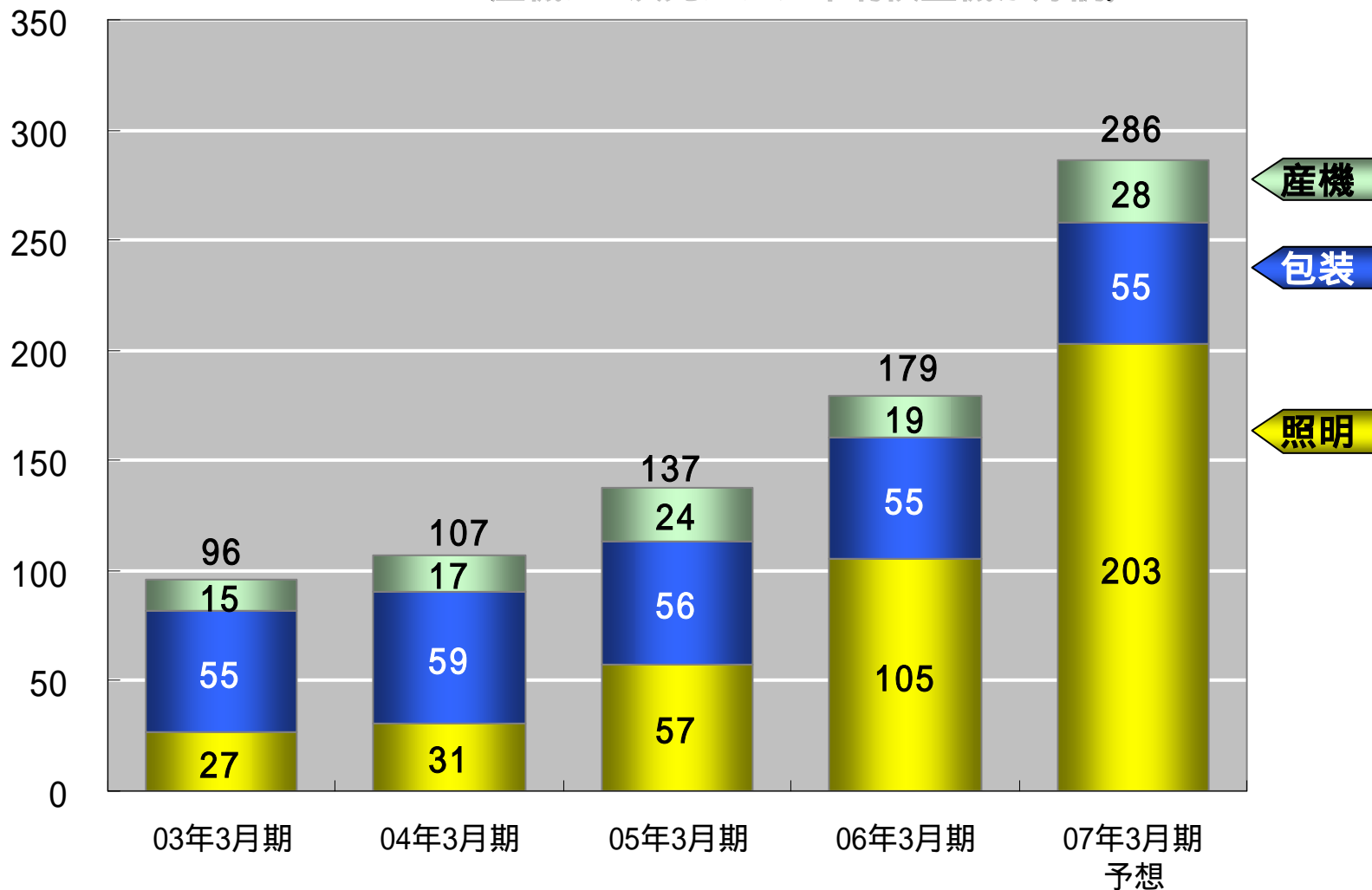
売上(単位:億円)



自動機械部門 機種別セグメント情報(通期)

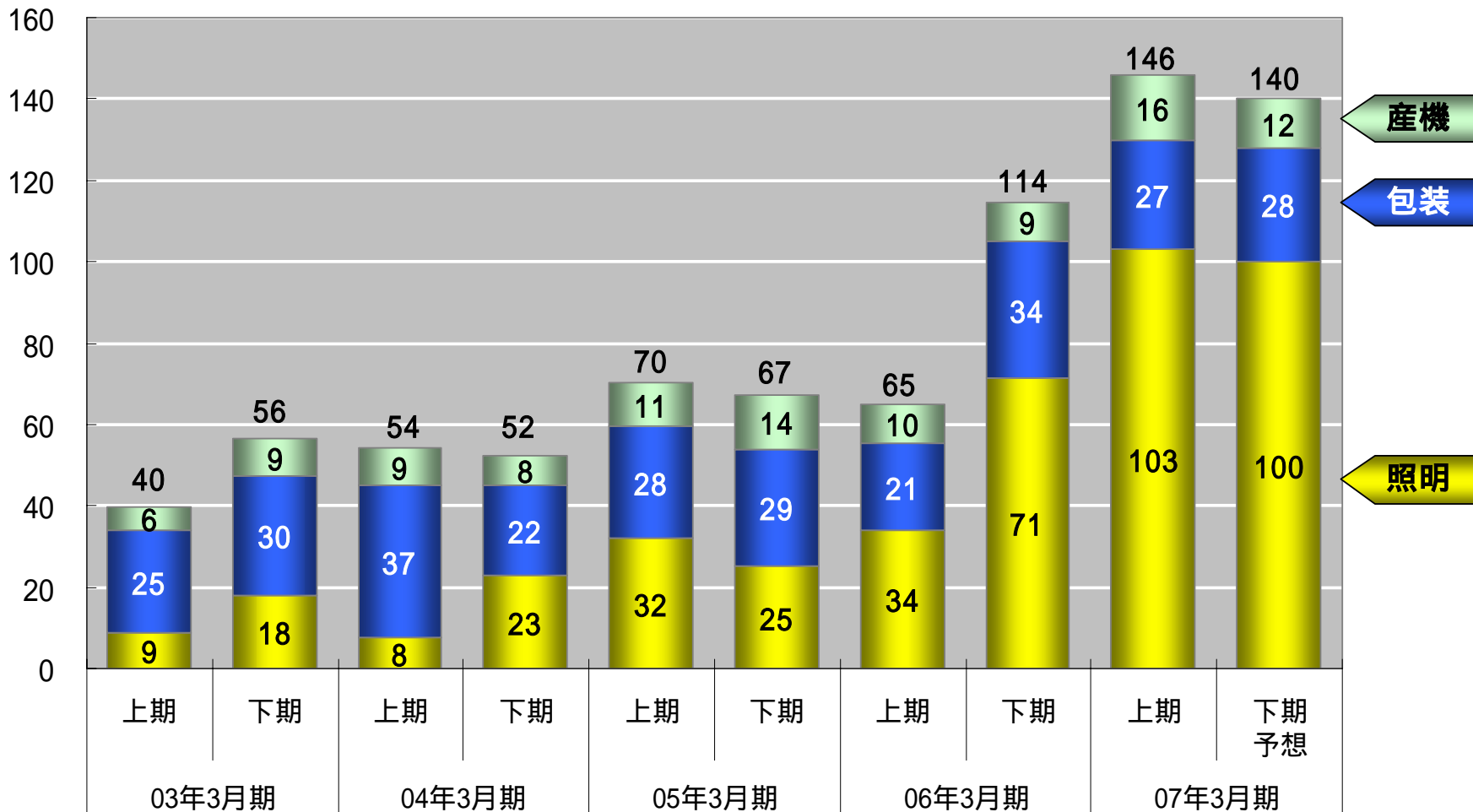
照明はCCFLが大幅な増加、
 包装機は前年度比横ばい、
 産機は3次元はんだ印刷検査機が好調。

売上(単位:億円)



自動機械部門 機種別セグメント情報(半期)

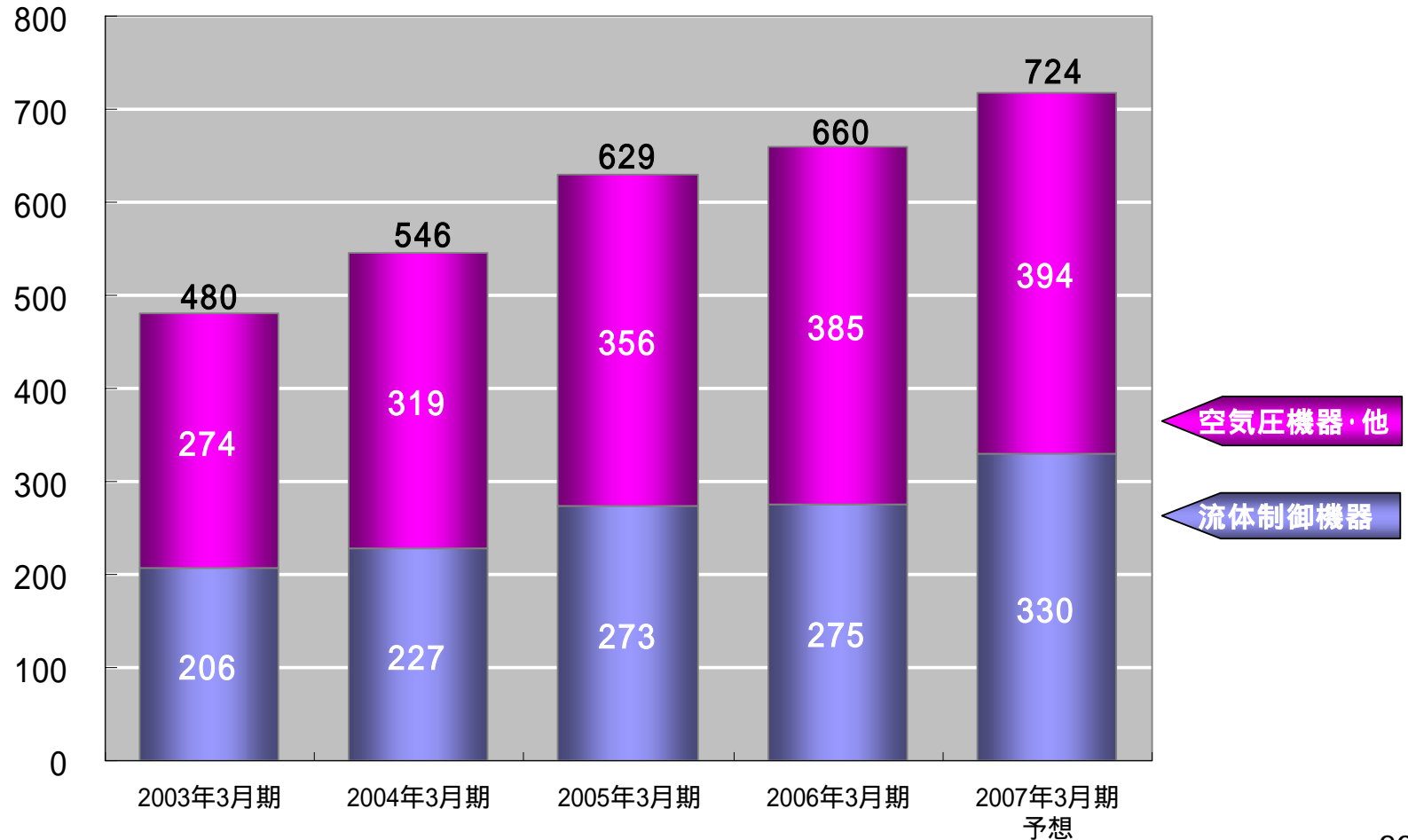
売上(単位:億円)



機器部門 機種別セグメント情報(通期)

好調な半導体の設備投資を背景に、受注好調。
 下期も不透明感あるが、半導体関連の設備投資に期待。

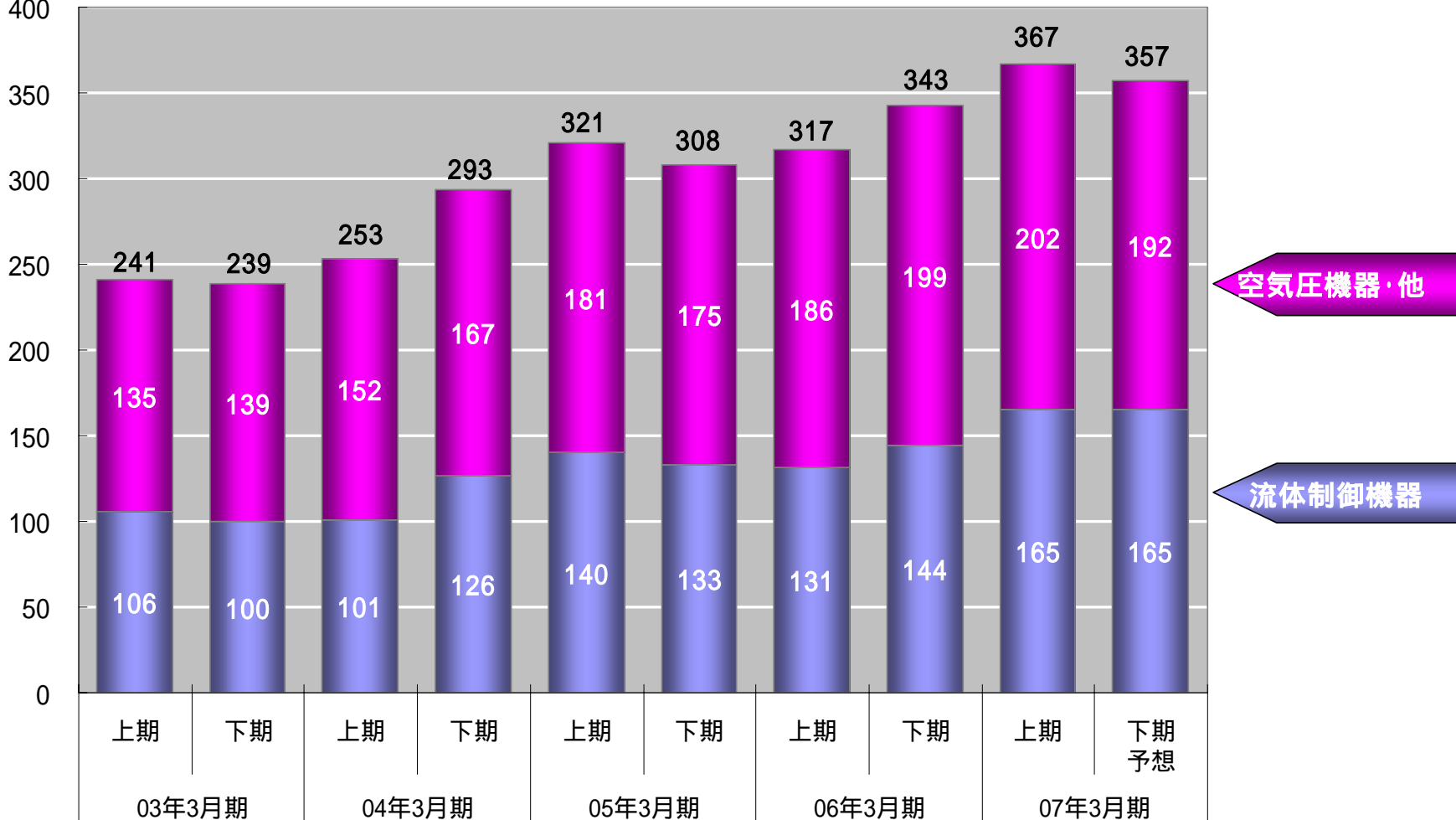
売上(単位:億円)



機器部門 機種別セグメント情報(半期)

空気圧機器は、自動車・FPDの設備投資が不透明

売上(単位:億円)



配当方針と当中間期の配当

1. 配当方針

「2007年3月期の配当については、中間配当金は期初計画どおりとし、通期では、今後の業績を勘案し、市場動向を見極め積極的な配当を検討してまいります。」

2. 当期の配当

		配当金			当期純利益 (単体)	配当性向
		中間(12月)	期末(6月)	年間		
2006年3月期	1株	6円	10円	16円	4,904百万円	20.6%
	総額	376百万円	660百万円	1,056百万円		
2007年3月期 予想	1株 (期初の 発表値)	8円	8円	16円	7,000百万円 予想	15.1% 予想
	総額	529百万円	529百万円	1,058百万円		

今後の見通し

今後の見通しと経営施策



自動機械部門の見通し

- **照明** 今年度のCCFLは特需であり、来年度以降は、安定した設備投資計画が見込まれる。
- **包装** 医薬品業界では、受託メーカー・ジェネリックメーカーに加え大手製薬メーカーの設備投資が活発化。
また高機能化に伴うアップグレード需要、メンテナンス需要が見込まれる。
- **産機** 携帯電話・車載向け電装品などの用途に検査機の需要拡大が見込まれる。

自動機械の期待される商品

薬品包装機 FBP-300E

多品種少量生産対応を徹底追求したプリスター包装機

錠剤充填部のユニット交換を可能とし、清掃作業のオフライン化を実現。

大幅な品種切り替え時間短縮、生産効率アップが可能。

消費エア50%、消費電力25%削減。

能力:3000錠/分



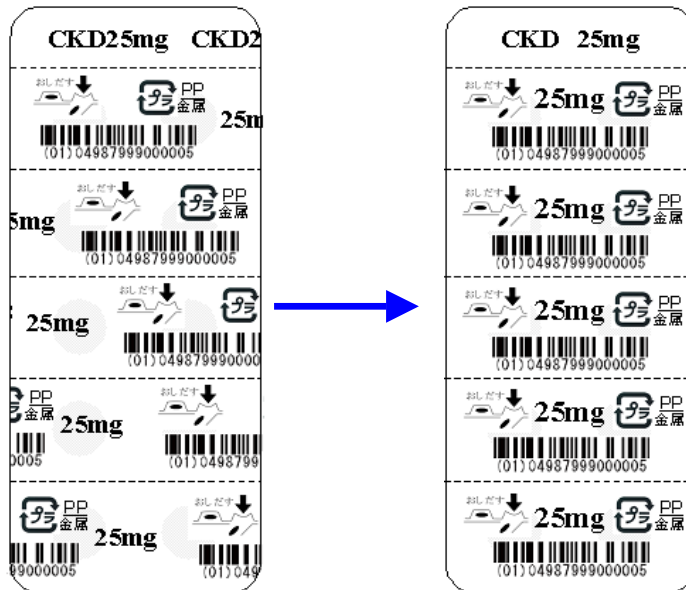
自動機械の期待される商品

薬品包装機 機能アップ

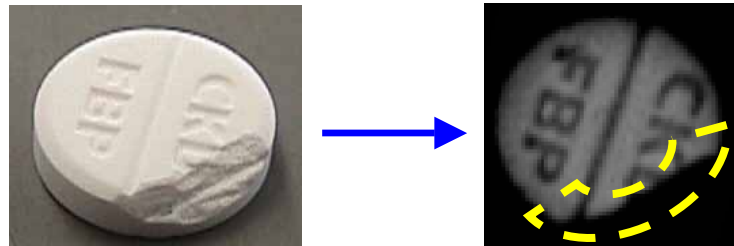
市場で稼働している1000台に対する機能追加・向上のグレードアップ改造

薬剤の間違い・異物混入などは人命に関わる大きな問題であり、厚生労働省より、医薬品の出荷検査の強化、薬に対する製造表示のガイドラインが出され、今後、高機能化・機能追加などの需要が見込まれます。

マーク合せ



マーク合せ制御
をした場合



異品種混入、異物混入及び錠剤の割れ欠けを、
CCDカメラを利用した画像処理検査装置で検出します。

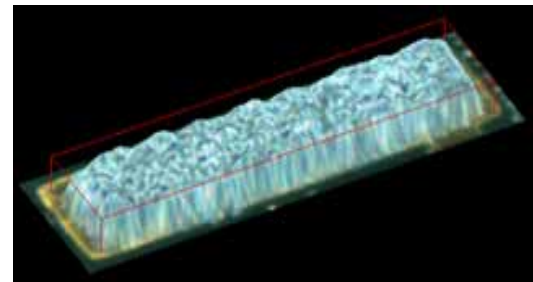
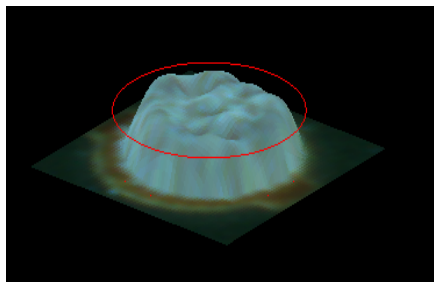
自動機械の期待される商品

はんだ印刷検査装置 VP3000L

業界トップレベルの高速・高精度に加え、操作性をも追及したはんだ印刷検査装置

携帯電話や車載部品などのプリント基板実装工程で要求される、はんだ体積と高さの高精度三次元検査を実現。
好評のVP3000に加え、EMSの要望からLLサイズ基板に対応するVP3000Lをラインアップ。

- ・超高速検査:0.25秒/視野
- ・フル3次元計測:体積、にじみ、かすれ、突起、平均高さ、ブリッジなど検査
- ・高精度:水平分解能8 μ m



機器製品の販売方策

1. 高集積化・高機能化されたシステム商品の販売強化。
2. 半導体 / FPD / 自動車 / 精密業種への営業活動を専任化し、ユーザーニーズに対応。
3. 海外販売
 - 韓国における半導体装置向け製品の生産開始
 - 海外拠点の増設(韓国3拠点、中国3拠点、台湾2拠点)
 - 現地営業マンの増員

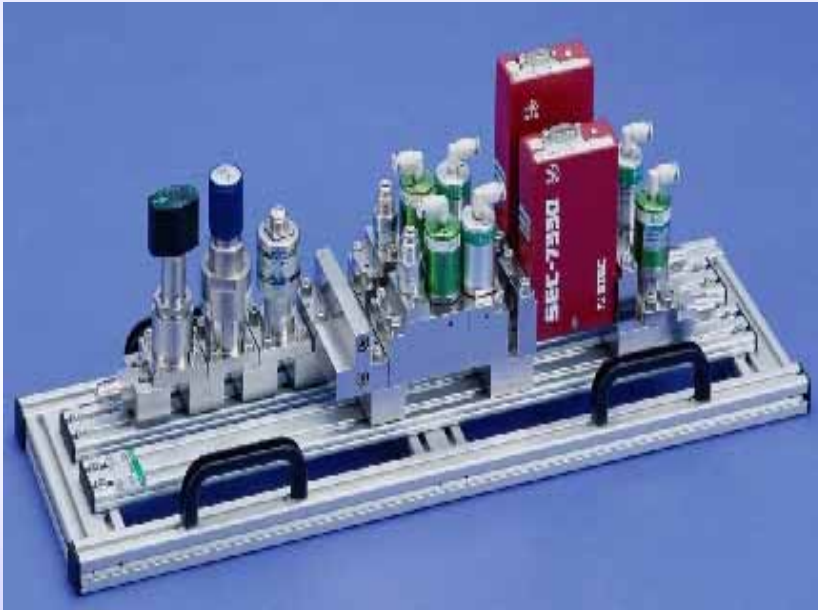
機器部門の期待される商品群

半導体製造装置向け流体制御機器の商品群



機器部門の期待される商品群

更に注力していく半導体製造装置向けシステム商品



半導体プロセスガス用
流量コントロール機器



真空弁とコントローラを
組み合わせた排気制御システム

機器部門の期待される商品群

ガイド付 高精度小形シリンダ



専門メーカーと共同開発したシリンダ



機器製品の販売方策

1. 高集積化・高機能化されたシステム商品の販売強化。
2. 半導体 / FPD / 自動車 / 精密業種への営業活動を専任化し、ユーザーニーズに対応。

3. 海外販売

韓国における半導体装置向け製品の生産開始
海外拠点の増設(韓国3拠点、中国3拠点、台湾2拠点)
現地営業マンの増員

韓国/半導体向け機器生産設備

クリーンルームの概要



生産能力強化

積極的な設備投資による生産能力の増強
 総投資額 約100億円

この設備投資により、国内の生産スペースは約30%アップします。



小牧工場

液晶用バックライト製造装置及び
 包装機械の製造工場

投資額 約15億円
 スペース 4,400平米

四日市工場

主力機器製品の製造工場

投資額 約22億円
 スペース 16,400平米

春日井工場

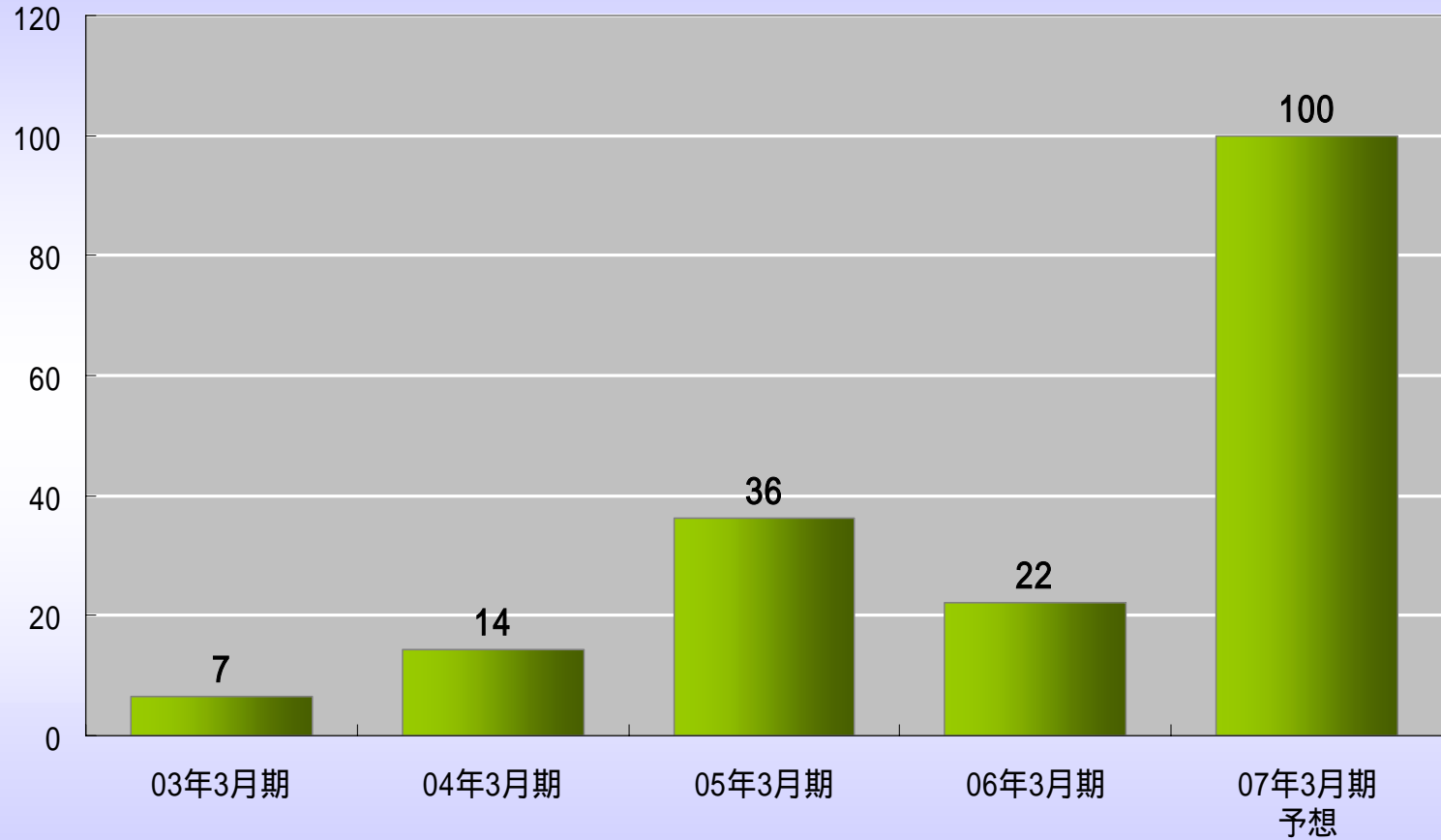
半導体製造装置用
 機器製品の製造工場

投資額 約31億円
 スペース 6,550平米

その他設備金型等 約32億円

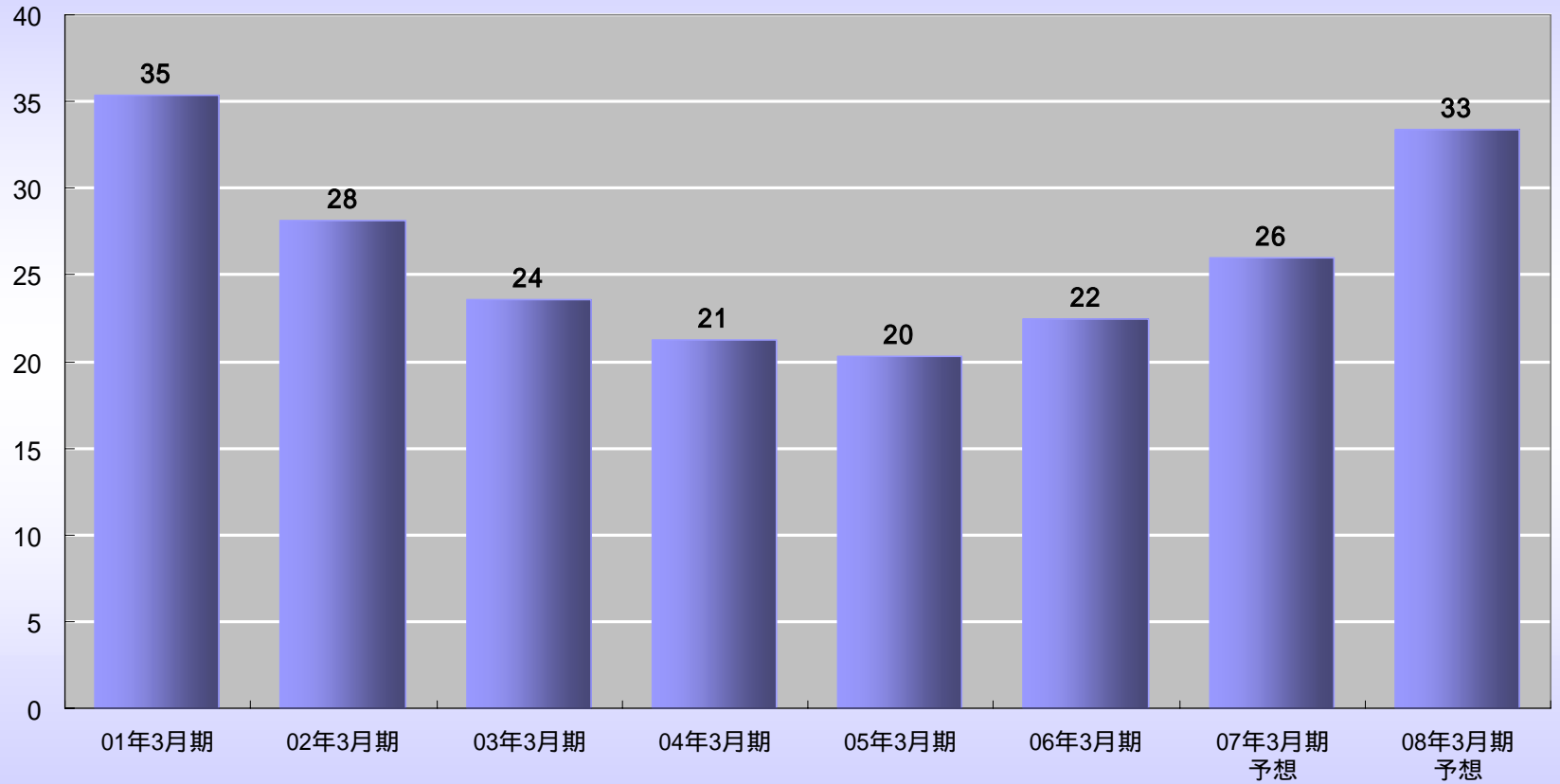
設備投資の推移

設備投資額
(単位:億円)



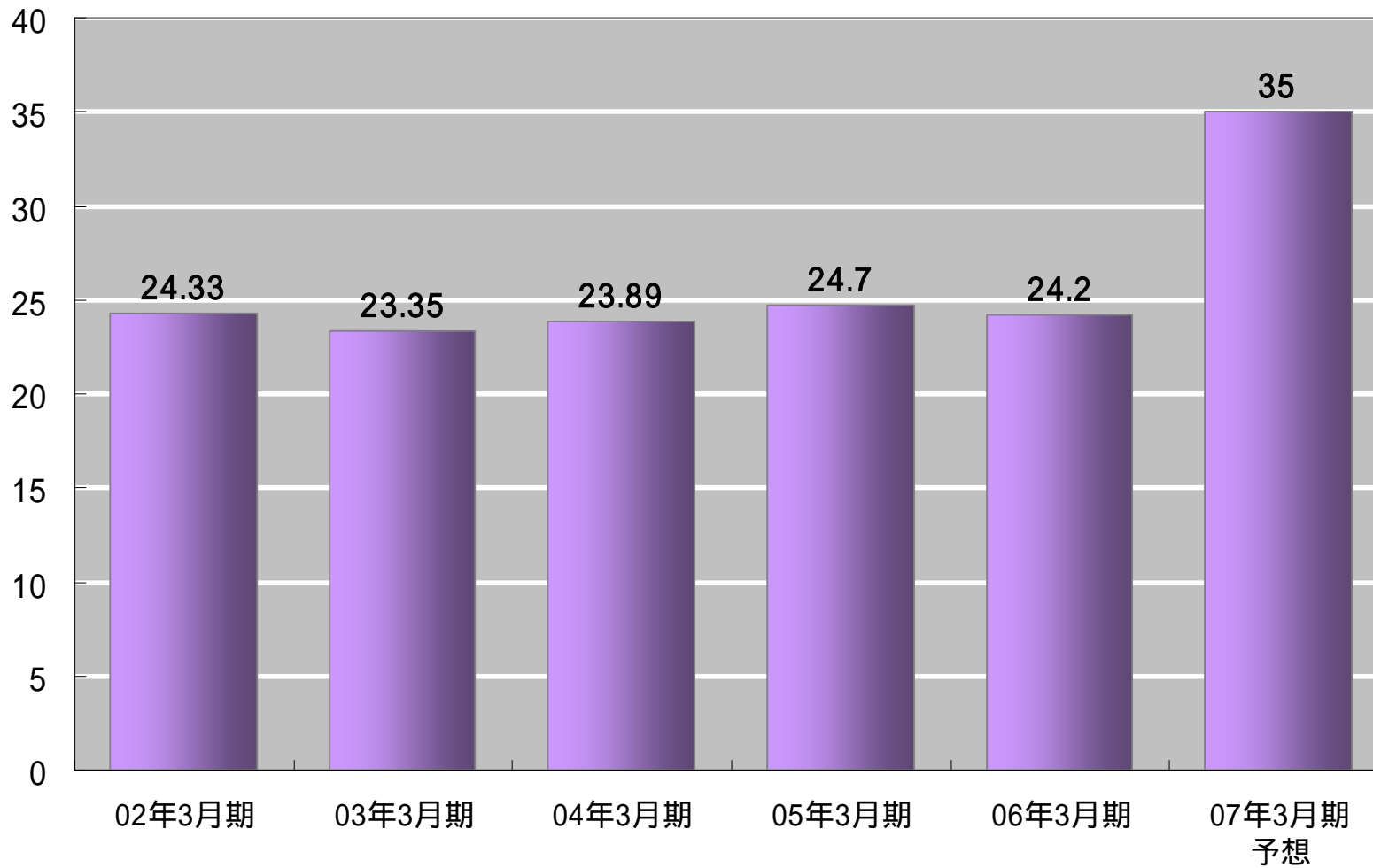
減価償却費の推移

減価償却費
(単位:億円)



開発研究費の推移

開発研究費
(単位:億円)



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。